

令和8年度 第1回いわて女性の活躍促進連携会議

日時：令和8年8月5日(水)10:00～11:30

場所：サンセール盛岡 3階 鳳凰

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 報告

ア 岩手労働局における女性活躍関連の取組について

資料 1

イ 岩手県の女性活躍関連の取組について

資料 2

(2) 協議『いわて女性の活躍促進連携会議の取組について』

ア 令和8年度の取組について

資料 3

資料 4

イ 部会等の取組について

資料 5

4 意見交換

都道府県版ジェンダーギャップ指数について

資料 6

5 そ の 他

6 閉 会

えるぼし認定 女性活躍推進法に基づく、女性の活躍推進の取組が優良な企業の認定



【主な要件】

- ・適切な一般事業主行動計画を策定したこと
- ・採用：男女別の採用における競争倍率が同程度であること
- ・継続就業：女性の平均勤続年数または継続雇用割合が男性と比べて一定の基準を下回っていないこと
- ・女性管理職の割合：管理職（課長級以上）に占める女性労働者の割合が産業ごとの平均値以上であること
- ・実績を「女性の活躍推進企業データベース」に毎年公表していること 等

【県内の認定企業数】 えるぼし 38社 ※R8年度新規認定 1社
(6月末現在) うち、プラチナえるぼし 1社

くるみん認定 次世代育成支援対策推進法に基づく、仕事と育児等との両立支援の取組が優良な企業の認定



【主な要件】

- ・適切な一般事業主行動計画を策定し、計画に定めた目標を達成していること
- ・男性労働者及び女性労働者の育児休業取得率が一定基準以上であること
- ・「男性労働者の育児休業等の取得期間延伸のための措置」、「年次有給休暇の取得促進」、「その他働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備」のための措置のうちいずれかを具体的な成果に係る目標を定め実施していること 等

【県内の認定企業数】 くるみん 64社 ※R8年度新規認定 2社
(6月末現在) うち、プラチナくるみん 4社

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）の概要

1. 目的

女性の職業生活における活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現を図る。

時限立法 ※1
(~R18 (2036) .3.31)

2. 概要

(一般事業主（民間企業等）に関する部分は厚生労働省が、特定事業主（国・地方公共団体）に関する部分は内閣府（内閣官房、総務省と共管）が所管）

○ 一般事業主（民間企業等）、特定事業主（国・地方公共団体）は、

(1) 職場の女性の活躍に関する状況の把握・課題の分析を実施、

(2) 状況把握、課題分析を踏まえた事業主行動計画を策定・公表、

〔事業主行動計画の必須記載事項〕

・目標（数値を用いて設定） ・取組内容 ・取組の実施時期 ・計画期間

(3) 女性の職業選択に資するよう、女性の活躍に関する情報を公表

・常用労働者301人以上の一般事業主及び全ての特定事業主（※2）は、

①「男女間賃金差異」

②「女性管理職比率」

③職業生活に関する機会の提供に関する実績から1項目以上

④職業生活と家庭生活との両立に資する雇用環境の整備に関する実績から1項目以上
を公表

・常用労働者101人以上300人以下の一般事業主は、

①「男女間賃金差異」

②「女性管理職比率」

③「職業生活に関する機会の提供に関する実績」及び

「職業生活と家庭生活との両立に資する雇用環境の整備に関する実績」の全ての項目から1項目以上
を公表

○ 国等は、優良な一般事業主に対する認定（えるばし認定・プラチナえるばし認定）、公共調達における受注機会の増大等の施策を実施。

地方公共団体は、国の施策に準じて受注機会の増大等の施策を実施（努力義務）

○ 地方公共団体は、推進計画（区域内の女性活躍の推進に係る計画）を策定、公表（努力義務）

(1)~(3)の対象は、

①常用労働者101人以上の一般事業主 及び
(常用労働者100人以下の一般事業主は努力義務)

②全ての特定事業主

情報公表項目

・男女間賃金差異
・女性管理職比率

・採用者に占める女性の割合
・男女別の職種又は雇用形態の転換の実績
・男女別の再雇用又は中途採用の実績 等

職業生活に
関する機会の
提供の実績

職業生活と家庭
生活との両立に
資する雇用環境
の整備の実績

・男女の平均継続勤務年数の差異
・残業時間の状況
・男女別の育児休業取得率
・有給休暇取得率 等



※1 令和7年の女性活躍推進法改正により、有効期限が令和8年3月31日までから、令和18年3月31日まで、10年間延長された。

※2 特定事業主は、内閣府令により、「各役職段階にある職員に占める女性職員の割合」、「男女別の育児休業取得率及び取得期間の分布状況」、「職員（管理職以外）の一月当たりの平均超過勤務時間」を含む計7項目以上の公表が義務化された。

女性の活躍推進企業 データベース

気になる企業や業種を検索してみよう！

就活していく中で、会社の働きやすさや働きがい(女性の活躍状況)について疑問に思ったときは
女性の活躍推進企業データベースで企業の情報をスマホでチェックしてみましょう！



検索結果画面では、企業が自ら公表している女性活躍に関するデータを簡単に見ることができ、お気に入り保存もできます。



女性活躍



ワーク・ライフ・バランス



こんな情報を調べることができます

35,000社以上の企業が女性活躍に関する自社の情報を公表しています

- ☒ 採用者に占める女性の割合
- ☒ 女性労働者の割合
- ☒ 女性管理職や役員の割合
- ☒ 男女の賃金の差異
- ☒ 年次有給休暇取得率
- ☒ 月平均残業時間
- ☒ 男女別の育児休業取得率



業種別に比較してみる

業種や、都道府県、従業員数で絞り込み、検索することができます。



ランキングを見る

業種、企業規模、都道府県を選択して
・女性管理職比率(課長級以上)
・女性の係長級比率
・女性役員比率

をランキング形式で見ることができます。
関心のある業種の女性の登用状況をぜひご確認ください。



データの読み解き方Q&A

企業研究に役立つ、女性の活躍推進企業データベースを活用したデータの読み解き方を解説しています。



- 学生・求職者の方
- 動画を見る
- データを見る時のポイント
- Q&A

Q&A 企業研究に役立つ！データの読み解き方Q&A

- 有給取得率から何がわかるの？
- 育休取得率はここを注目！
- 女性管理職比率を見る時のポイントは？
- 気になるキーワードからデータを読み解いてみましょう。
- 男女の賃金の差異を見る時のポイントは？
- 女性役員比率からどんなことがわかるの？
- えるぼし認定って？

データのチェックポイント

1. 現状だけでなく将来性もチェック！

現時点の数値だけでなく、改善に向けた取組状況や今後の目標(一般事業主行動計画)も併せて見ることで、企業の女性活躍推進に向けた姿勢を読み取りましょう。

2. 情報公表している項目数に注目

どれくらい多くの項目を公表しているかによって、企業の女性活躍推進に対する姿勢を読み取りましょう。

3. キャリアアップのチャンスは？

働きやすさに関する指標だけでなく、女性活躍に関する指標(女性管理職の割合等)も併せて見ることで、その企業で男女問わず能力に応じて力を発揮できているかを読み取りましょう。



令和 8 年度各部における女性活躍関連施策の取組について

【部局名：政策企画部】

事業名（項目名）	内 容
いわて未来づくり 機構第 1 回ラウンド テーブル (R8. 7. 13)	令和 6 年度に開催したラウンドテーブルで採択した「若者・女性に「選ばれる岩手」宣言」を踏まえ、株式会社陽と人代表取締役 小林味愛氏を講師に迎え、御講演いただくとともに、「若者や女性に選ばれる地域づくりに向けた今後の取組等」をテーマに、ラウンドテーブルメンバー（岩手県の産学官の代表）と、講演テーマに関連して県内で活躍する若者・女性によるディスカッションを実施。
岩手県総合計画審 議会「若者・女性部 会」の開催 （第 1 回～第 4 回） （R7. 12～R8. 6）	「いわて県民計画（2019～2028）」第 2 期アクションプラン及び第 2 期岩手県ふるさと振興総合戦略は、令和 8 年度が計画期間の終期であり、今後、次期プラン等の検討を進めていく必要がある。 検討に当たっては、若者や女性の視点を取り入れることが重要であるため、岩手県総合計画審議会に「若者・女性部会」を設置（R7. 12 月：部会委員 8 名）。 部会では、地方創生 10 年間の成果と課題を踏まえた現状認識をもとに、個人の希望を制約する要因の洗い出しや、希望を後押しするための社会のあるべき姿などについて議論。 まとめでは、若者・女性が特に重視する視点として以下の 3 点が挙げられた。 ① 個人の選択や価値観を認め合う社会 ② やりたいことができ、失敗しても大丈夫な環境 ③ 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に対する気づき・見直し、ジェンダーギャップの解消

【部局名：総務部】

事業名（項目名）	内 容
仕事と家庭の調和がとれる職場環境の整備	令和8年3月に策定した『次世代育成支援及び女性活躍推進のための特定事業主行動計画』に基づき、仕事と家庭を両立しながら、男女がともに活躍できる環境の整備を進めます。 <u>1. 子育て世代職員への支援の充実</u> ○ 新たに、育休中の過ごし方や復職に向けた働き方などについて、スポット的にアドバイスを行う「県庁子育て応援サポーター」による相談体制を整備（R8.7～） NEW ○ 県・市町村職員を対象とする子育て支援セミナーの開催（R8.11）



<R7 子育て支援セミナーの様子>

(続き)仕事と家庭
の調和がとれる職
場環境の整備

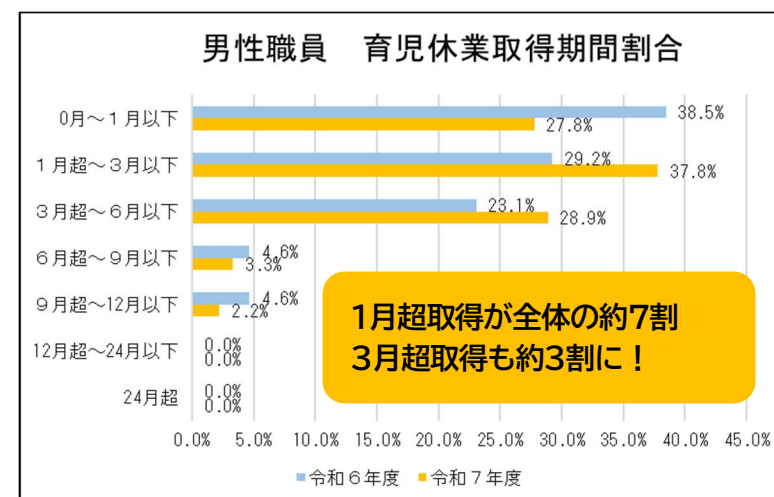
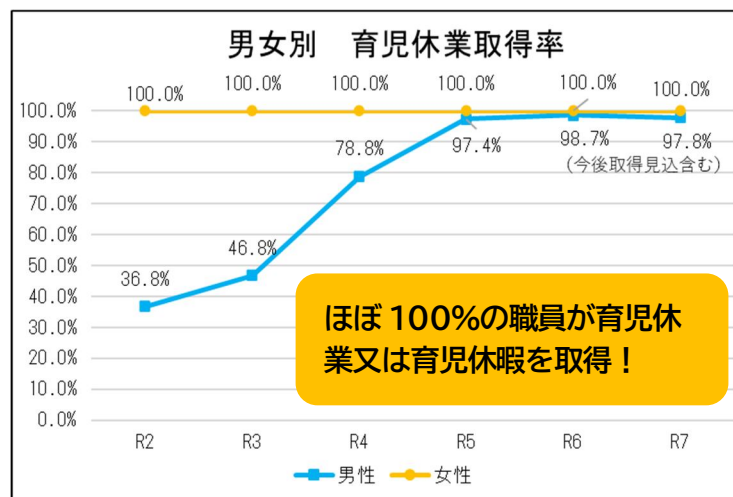
○ 安心して育児休業の取得・職場復帰
ができる環境を整備するため、新たに
短期間の育休等に臨機応変に対応する
任期付職員(事務)を配置 **NEW**

○ 庁内保育施設「うちまる保育園」による
子育て相談会も毎月開催



【目標】男性職員の育児休業取得率 R12: 100.0% (現状値(R7): 97.8%)

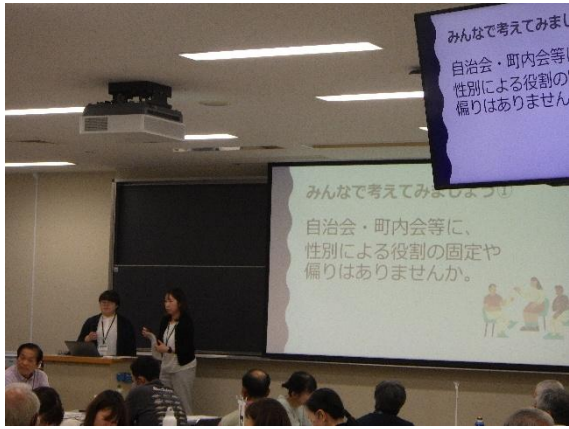
育休取得期間3か月超 R12: 50.0% (現状値(R7): 34.4%)



(続き)仕事と家庭の調和がとれる職場環境の整備	<u>2.明るく、いきいきとした職場風土づくり</u> ○ ハラスメントに関する知識向上や意識啓発 ・ 各所属の業務方針にハラスメント対策の項目を新設 NEW ・ 全ての職位の研修でハラスメントの講義を実施 NEW ・ 所属長等を対象としたハラスメント研修、主査級を対象としたハラスメント防止に向けた実践力向上研修 NEW ○ 相談しやすい環境の整備 ・ ハラスメント相談窓口を本庁各部局・広域振興局に拡充 ・ 健康相談窓口(臨床心理士等)との連携【本庁】
2.女性職員の活躍推進	○ より一層のキャリア形成への支援及び昇任に対する意欲の向上を図るため、「先輩管理職アドバイザー」によるフォロー体制(男女問わず全ての管理職が対象)を整備(R8.7～) NEW ○ キャリア形成や仕事と家庭の両立への安心感を醸成するため、女性職員と女性管理職との交流会等を開催(R8.11) NEW ○ 上記の取組のほか、キャリアデザイン研修(R8.8 予定)や、誰もが活躍できる職場環境づくり研修も実施 (R8.11) 【目標】管理職(総括課長級以上)に占める女性割合 R12:<u>20.0%</u> (現状値(R8.4.1 時点):<u>16.4%</u>)

【部局名：復興防災部】

事業名（項目名）	内 容
防災会議運営費 （防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画拡大）	(1) 県防災会議（令和8年5月31日現在） 委員78名中女性委員18名（※女性割合：23.1%）（R7：17.9%） 【主な取組】 ・令和8年度から、県職員から指名される委員について構成を見直し ・国関係機関から指名される委員について女性の登用拡大を国に要望 ・防災関係機関から推薦される委員について令和9年3月の委員改選に合わせ女性委員の推薦を依頼 (2) 市町村防災会議（令和8年4月1日現在） 女性委員を3名以上任命している市町村防災会議29市町村（R7：27市町村） 【主な取組】 ・「いわて男女共同参画プラン（2026～2030）」等における「市町村防災会議における女性委員」の目標値を「3名以上」から「委員割合20%以上」（R8：20%以上6市町村）に引上げ ・各市町村に防災会議への女性の登用拡大、避難所運営への女性の参画拡大等を積極的に進めるよう依頼

総合防災訓練費 （災害から受ける影響の男女の違い等に配慮した防災対策の実施）	二戸市、軽米町、九戸村及び一戸町と合同で開催の県総合防災訓練（令和8年11月7日（土））において、避難所での妊産婦の避難支援等、女性や要配慮者に配慮した避難所運営訓練を実施予定
自主防災組織強化事業費（災害から受ける影響の男女の違い等に配慮した防災対策の実施）	防災士スキルアップ研修会（令和8年12月開催予定）や、地域防災サポータースキルアップ研修（令和9年2月開催予定）において、男女共同参画などの視点を取り入れたカリキュラム（避難所運営ゲームなど）を実施予定  <避難所運営ゲーム HUG の様子>  <男女共同参画の視点の防災に関する講義>

消防力強化事業費 （消防庁消防団の 力向上モデル事 業）	消防団員の確保に向け、岩手ビッグブルズと連携して、主に女性や若者を対象に消防団の魅力を発信 <マスコットのアンバサダー就任> <冠試合の開催> <入団促進ブース設置>
沿岸地域基幹産業 人材確保支援事業 費（女性が働きや すい職場環境整備 費補助）	・水産加工業における女性が働きやすい環境整備により、女性従業員の確保・定着やジェンダーギャップの解消を支援 ・R8支援事業者数（予定）：2者 ※補助対象者：いわて女性活躍企業等認定企業又はいわて子育てにやさしい企業等の認定を受けている事業者（環境生活部・保健福祉部とタイアップ） 補 助 内 容：女性用休憩室やトイレ等の整備等 補 助 率：県1/4、市町村1/4 補 助 上 限：県100万、市町村100万

【部局名：保健福祉部】

事業名（項目名）	内 容
ライフデザイン形成支援	高校生や若手社会人等の若者に対して結婚・妊娠・出産、子育てと仕事などの様々なライフイベントについて積極的に考え、将来のライフデザインを希望を持って描く機会を提供するためのセミナー等を実施。
プレコンセプションケアの普及	将来の健康やライフデザインを見据えた健康管理の取組であるプレコンセプションケアについて、若い世代だけでなく、それを支える大人世代にも正しい知識を広げ、社会全体でプレコンセプションケアに取り組む環境づくりを推進。
仕事と子育ての両立支援	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定促進に向け、本県独自の認証制度や企業への専門家の派遣により男女が共に働きやすい職場づくりを推進。



ライフデザイン形成支援

令和7年度の実績

【プレコンセプションケア(プレコン)に関する正しい知識の普及啓発】 JIBUN VISIONの配付(高校2年生)

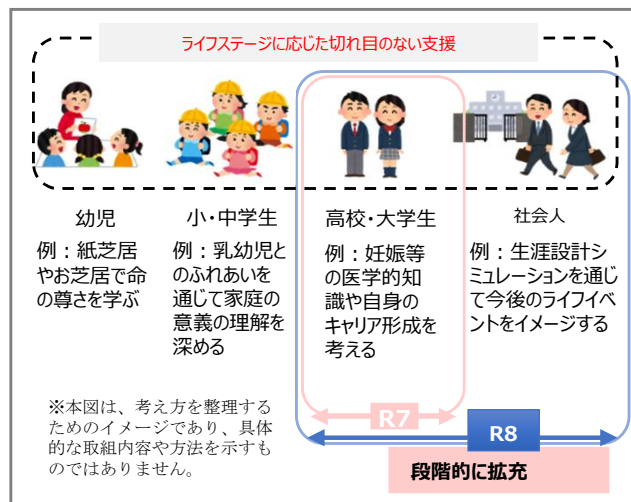
【新婚世帯・若者向けライフプランセミナー】 R7実績:12回(参加者 433人)

【高校生向けライフプラン設計講座】 R7実績:10校(参加者 492人)

令和8年度の実績

こどもや若者が、将来の様々なライフイベントについて積極的に考え、希望を持ってライフデザインを描くために必要なプレコンやライフプランについての知識を学ぶ機会を提供。

あわせて、高校卒業後の若年層へ対象を拡大し、当事者意識をもって主体的に取り組むことができるよう支援を実施。



コネヒト(株)HPより

■高校生向けライフプラン設計講座(継続)

10校で実施(希望に基づき実施) ※9月から開始

- ①盛岡大学附属 ②盛岡農業 ③紫波総合 ④花巻南 ⑤花北青雲
⑥北上翔南 ⑦大船渡高校定時制⑧釜石商工 ⑨宮古商工 ⑩大野

■新婚世帯・若者向けライフプランセミナー(継続)

全12回実施 ※5月から開始

- ①子育て・家事(講師:県立大 准教授)
②お金を含めたライフプラン(講師:FP)
③プレコンセプションケア
(講師:県立大 准教授(助産師)、岩手医大 医師)

■ライフデザイン共創プロジェクト【R8新規】

大学生等と連携し、プレコンの理解促進のため、課題調査・分析、周知方法等を検討

検討経過もSNS等で積極的に情報発信

プレコンセプションケアの普及

令和7年度の実績

【プレコンセプションケアの理解推進のためのセミナーの開催】(約70名参加)

いわてで生み育てる県民運動セミナーとして、SRHR※とプレコンセプションケアをテーマとしたセミナーを実施。
セミナー実施後アンケートでは、受講者のうちSRHRは約8割、プレコンは約5割の方から受講前は知らなかったと回答。

令和8年度の実績



将来の健康課題を予防するための基盤整備が急務

- ・全世代にプレコンセプションケアの理解を拡大
 - ・若者+支える大人世代へアプローチ
 - ・プレコンサポーター養成講座を活用し普及促進
- ※ライフデザイン形成支援と両輪で推進

プレコンサポーター養成講座

基礎編



対象者
すべての方

アドバンス編



対象者
基礎編を修了した医師、助産師、栄養士、養護教諭など

本県で取組む対象者の範囲

全ての世代の方々

妊娠・出産を含めた性や健康に関する相談をしたい方

専門的な相談をしたい方

他県等の取組での
主な対象者の範囲

■プロジェクト名

岩手県プレコンセプションケア
推進プロジェクト(仮)

■目標

プレコンサポーター養成講座(基礎編)修了者
3,000人(R12) ※ 国の目標5万人の6%

R8
県職員から開始

R9~
市町村・民間企業
へ拡大

R12
全世代の県民へ
定着

※SRHR(Sexual and Reproductive Health and Rights の略)
性と生殖の健康と権利。すべての人が自分の体や性について自由に考え、選択し、尊重され、体の自己決定権を持つこと

仕事と子育ての両立支援

令和7年度の実績

【いわて子育てにやさしい企業等認証】

認証継続企業: 252社[R8.3月時点]

【次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定促進】

・商工団体等と意見交換



〔意見交換実施機関〕
県商工会連合会(青年部)
県商工会議所連合会
(金融理財部会、中小企業委員会)
県中企業団体中央会
商工会議所(北上、大船渡、久慈)

※県内に本社を置く企業

令和8年度の実組

一般事業主行動計画の策定促進に向け、商工団体等の意見などを踏まえ、企業支援を強化

■社会保険労務士の派遣【R8新規】

- ・岩手県社会保険労務士会との契約(R8.5月～)
- ・企業支援のための研修を実施(R8.5月)
- ・研修会終了後、希望企業への訪問支援開始(R8.6月以降順次派遣)

■県条例の制定に向けた取組【継続】

- ・企業や商工団体等と引き続き協議・調整を行い、対象企業の拡大に向けた県条例の年度内策定を目指す
- ・パブリックコメント開始(R8.5月～)

■いわて子育てにやさしい企業認証【継続】



5月25日開催の研修の様子

【部局名：商工労働観光部】

事業名（項目名）	内 容
環境整備に取り組む 中小企業者への支援	▶ 魅力ある職場づくり推進事業費補助金（R8 当初予算：9,375 千円） 県内就職や子どもを安心して生み育てる環境づくりを促進するため、若者や女性などに魅力ある雇用・労働環境の整備に向けた中小企業等の取組を支援 （補助額 1/2、補助上限額 100 万円、一定の条件達成で上限額 125 万円） ▶ 中小企業者等賃上げ環境整備緊急支援事業費補助（R7.5 号補正予算：150,000 千円） 適切かつ円滑な価格転嫁や賃上げに取り組む中小企業者等を支援するため、生産性向上に向けた設備投資や人材育成等に要する経費に対して補助 （通常枠：補助額 2/3・補助上限 200 万円、複合事業者連携枠：補助額 2/3・補助上限 200 万円、デジタル活用枠：補助額 1/2・補助上限 100 万円） ▶ 物価高騰対策賃上げ支援事業（R7.7 号補正予算：2,714,000 千円） 最低賃金の大幅な上昇が続く中、中小企業等が継続的に賃上げできる環境を整え、必要な人材を確保していくため、支援金を支給 （給付額：従業員 1 人当たり 6 万円または 8 万円、1 事業所当たり最大 400 万円）
若者・女性の起業支援	▶ 若者・女性創業支援資金貸付金（R8 当初予算：619,023 千円） 岩手県内で新たなビジネスの立上げ等にチャレンジする場合に、創業等において必要な資金調達を支援 （融資対象者：県内で新たに事業を開始しようとする女性又は若者（39 歳以下）） （融資限度額：1,000 万円以内）（融資期間：10 年以内（据置 1 年以内）） ▶ 起業・スタートアップ推進事業費（R8 当初予算：5,366 千円） 女性の起業支援の充実強化を図り、女性の活躍や県内定着を後押しするため、女性起業家同士のネットワーク形成による成長を支援 New
学生への普及啓発	▶ 未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費（R8 当初予算：24,340 千円） 理工系女子学生と連携したイベントやものづくり企業で活躍する女性社員等による出前授業を実施 ▶ アパレル・漆等いわて価値創造産業支援事業費（R8 当初予算：6,878 千円） アパレルや漆など、女性の就業割合が高い北いわての特色ある地場産業を中心に、県民理解の増進や魅力ある産業としての認知度向上を図るため、県内外の学生等を対象とした県内事業所でのオープン・カンパニーの実施やデザインコンテストの開催、コンテストに合わせた P R 映像の制作や配信を実施



事業名（項目名）	内 容
産業関係団体への要請活動	女性の活躍促進に向けた雇用労働環境の確保や働き方改革に向けた取組の促進等について、岩手労働局及び盛岡市と連携し、産業関係団体への要請活動を実施（令和8年5月8日） 【要請先団体】 岩手県商工会議所連合会、（一社）岩手経済同友会、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、（一社）岩手県経営者協会、（一社）岩手県工業クラブ、岩手県中小企業家同友会  ＜（一社）岩手県経営者協会への要請活動＞
いわて働き方改革推進運動の展開 	県内企業における長時間労働の是正や年次有給休暇の取得促進等の「働き方改革」を促進するため、企業参加型の運動を展開し、特設ウェブサイト、リーフレット等による周知・啓発を実施 [運動参加企業数：1,258社（R8.6月末時点）] ▶ いわて働き方改革 AWARD 2026 働き方改革により人材の採用・定着、業績の向上につなげている優れた企業の取組を表彰し、広く情報発信することで、企業の意識啓発を推進 ○ 募集期間：令和8年7月15日～9月16日 ○ 授 賞 式：令和8年11月中旬（予定）  ＜いわて働き方改革 AWARD2025 授賞式＞ ▶ 働き方改革実践企業フォローアップ 企業における従業員エンゲージメント（主体的貢献意欲）の向上のため、調査を通じて各社の実態を踏まえた取組を進めるとともに、若者や女性など多様な人材が働きやすく、働きがいのある職場づくりの推進に向けて、下記の事業を実施 【従業員エンゲージメントサーベイ】 運動参加企業のうち 50 社程度を対象に調査を行い、各社の実態を踏まえた伴走型支援を行うことで、企業の働き方改革の取組を支援。 【取組支援研修・現場見学会】 従業員エンゲージメントサーベイを実施した企業等を対象に、働き方改革に資する取組を支援するための研修会や、先進的な取組や波及効果の高い取組を実践している企業の見学会を実施。  ＜参考：R7 現場見学会（株式会社ニュートン）＞

【部局名：農林水産部】

項目名	内 容
1 女性農林漁業者の活躍に向けた環境づくり	(1) 女性農林漁業者の活躍に向けた環境づくり ● 若手女性リーダー育成セミナー (R8.11) ● 家族経営協定推進セミナー (R8.12) ● 「岩手県食の匠」の認定、動画を活用した情報発信 (2) 意欲ある女性農林漁業者の育成 ● グループ活動への支援 (8 団体)、活動成果発表会 (R9.3)  ◆ 若手女性リーダー育成セミナー
2 農山漁村で輝く女性部会の活動支援	(1) 移住フェアでの農林水産業の魅力発信 (R8.8.30) (2) U・I ターン希望者等との交流座談会 (R8.9) 新規 (3) 意欲ある女性農林業者を対象としたセミナー開催 (R8.11) (4) 農林漁業への就業を希望する若者等との意見交換 (R9.1) (5) アンコンシャス・バイアスに関する先進企業との意見交換 (R9.2)  ◆ 女性部会のメンバー
3 女性農林漁業者の活躍に関する情報発信	(1) 県公式YouTube等を活用した女性林業者の情報発信 (R8.10～) ● 林業に関わる現場で活躍する女性の取組状況の P R 動画作成   ◆ 林業で活躍する女性 (イメージ)
4 その他	(1) 「いわて農林水産躍進大会」での女性農林漁業者等の表彰 (R8.12) ● 農林水産業や農山漁村の活性化に意欲的に取り組んでいる女性農林漁業者等

※ 項目 1 ～ 3 : 幸せ創る女性農林漁業者育成事業

【部局名：県土整備部】

事業名（項目名）	内 容
労働環境改善の取組	建設業における女性活躍・定着促進に向けた働き方改革、職場環境整備の推進に向けた取組 1 建設現場の快適な環境整備の促進 快適トイレの設置や休憩室のエアコン設置など、建設現場の環境改善に要する経費を工事費に計上する取組を継続 2 建設現場における週休2日制の促進 令和6年2月から原則全ての工事において「週休2日工事」を発注者指定型で発注 3 ICT技術の活用による安全で効率的な施工等の促進 - BIM/CIM適用工事実施要領策定（R6.10）し、初の適用工事を発注（R6.12） 3次元モデル活用事例効果を共有し、他工事への事業展開を推進 4 建設企業の女性活躍等の取組の促進 「いわて子育てに優しい企業等」や「いわて女性活躍認定企業等」の認定等企業について、入札参加資格審査や工事入札（総合評価）において加点評価する取組を継続 - 女性技術者を配置した工事について、工事入札（総合評価）において加点評価する取組を継続
ジェンダーギャップ解消に向けた取組	経営者や幹部職員等に対する女性が働きやすい職場環境整備等への理解促進に向けた取組 建設業団体との意見交換会の開催（7～9月） 経営者等との意見交換会においてジェンダーギャップ解消に向けた取組等を説明予定 女性活躍推進講座等の開催（8～10月） 「アンコンシャス・バイアス」をテーマとした講習会を実施 

建設企業のDX推進に対する支援 (建設DX推進事業費補助金)	県内建設企業におけるICT等の活用による女性が働きやすい柔軟な働き方のできる環境整備の促進に向けた取組 生産性向上事業 ICT機器や遠隔臨場システム等の導入に要する経費の一部を補助 建設バックオフィスDX推進事業 - 建設現場や事務所のデジタル化に要する経費の一部を補助 - 令和5年度から令和7年度までに採択された企業の導入事例集を作成し、公表 事業例⑥【株式会社小田島組の採択事例(R7)】労務安全書類クラウドサービスによる業務効率化 【現状】紙、メール 協力会社によって様式の異なる安全書類や契約書類 書類の不備や記入漏れ 修正依頼のやり取りが通常業務を圧迫 書類管理が個人的で担当者不在の際の引き継ぎが困難 【システム導入後】クラウドサービス 統一様式で提出 提出内容を確認 システムが自動で不備や未提出をチェック 再提出依頼にかかる時間が削減され、事務員の負担軽減と業務効率化を実現！ 安全管理の精度も上がり、現場全体のリスク軽減にもつながる！
建設業のイメージアップ・入職促進に関する取組 ＜建設業協会と連携＞	建設業のイメージアップ、入職促進に向け、性別によらず誰もが働くことのできる建設業をPRする取組 いわて建設業みらいフォーラム(10月) 「けんせつ小町部会」のブース展示や女性技術者による発表等により、建設業で働く女性の現状や性別によらず働くことのできる建設業の魅力等を広く発信 中学生との交流会(9～10月予定) 若年層の建設業への理解と入職促進を図るため、進路選択前の中学生を対象に、社会インフラの重要性と建設業の役割・魅力を伝えながら、ワークショップや技術体験等を実施 異業種研究会(11月) 建設業における誰もが働きやすい職場環境整備の促進に向け、他業種企業が取り組んでいる事例の紹介や意見交換を実施 各種広報媒体による建設業の魅力PR(随時) 「いわて！わんこ広報室」(6月)、「いわてグラフ」(6月)、県公式HP等の媒体を通じ、若手・女性従事者等が活躍する建設企業の情報発信

【部局名：盛岡広域振興局】

事業名（項目名）	内 容
ジェンダーギャップ解消・仕事と子育ての両立に向けた取組	○ <u>若者・女性に選ばれる岩手を目指すためには、ジェンダーギャップを解消のための意識啓発を進めるとともに、若者・女性にとって魅力ある雇用労働環境の整備などに向け、「一歩進んだ」企業側の取組を後押しすることも必要と考え、</u> ○ <u>家事支援サービスに係る国の実態調査結果や国の実証事業の結果から、出産意欲の増加、キャリア形成との両立、企業の人材確保などにつながる</u>ことが期待されることから、「企業の福利厚生事業への家事支援サービスの導入」を後押しすることを検討 企業における仕事・子育て両立支援ワーキンググループ 女性活躍に係る有識者、いわて働き方改革 AWARD 受賞企業、首都圏で先進的取組を実施する企業（「リトルもりおか」メンバー）、社会保険労務士で構成されるワーキンググループにおいて議論し、施策につなげる ※ 本庁関係所属もオブザーバーとして参加 【取組状況】 第1回ワーキンググループ会議（5/13）を実施 ○ 首都圏の先進的企業の事例の共有 ・ 家事代行：「扶養家族あり」の場合は全額補助（1回当たり2.5時間以上で月15時間以内） ・ ベビーシッター：月額5万円まで補助 など ○ 「家に入られることに心理的抵抗感がある」などの課題に対しては、（安心できる）多様な事例の発信が必要」など、総じて「周知や体験機会の提供が利用促進に有効」という意見 ○ 今後は、企業の福利厚生事業への導入につなげるため、R9年度モデル事業を検討「効果が実感できる体験機会の提供」や、取組の必要性・期待される効果を「雇用主等へ情報発信」する展開方向について、ワーキンググループで議論

事業名（項目名）	内 容
ジェンダーギャップ解消など「働きやすい職場環境づくり」に関する企業向けセミナーの実施	盛岡広域圏高校生インターンシップ事業実施協議会において、参加企業等を対象にジェンダーギャップ解消など「働きやすい職場環境づくり」に係るセミナーを開催する（R9年2月） 
子育て応援イベントの開催	「孤育て」を防ぐため、講演会の開催や、父親の育児参加の機会をつくるなど、生み育てやすい環境整備を図る「子育て応援イベント」を開催（R8年10月） ・ 対象：管内の未就学児（年中・年長）とその保護者等 ・ 内容：「親子で体験！子育て応援フェスタ（仮称）」 (1) 講演・情報提供 講演会：子育てに役立つ講演 例)「子育てにかかるお金」「こどもの権利」 (2) お父さんの育児体験 父親料理教室、親子工作 (3) お母さんのリフレッシュ体験・交流サロン ハンドマッサージ、アロマワークショップ (4) 遊びの指導員による子どもの遊び体験 運動遊び、世界のおもちゃ、ミニゲームなど (5) みんなの子育て応援コーナー 行政や関係機関の紹介、個別の相談 (6) 託児サービスの提供（弟・妹の預かり）  

【部局名：県南広域振興局】

事業名（項目名）	内 容
女性が活躍できる職場環境づくりへの支援	1 「いわて女性活躍企業等」認定制度の普及啓発、認定企業の拡大 (1) 認定制度を通じて、「女性が活躍できる職場環境づくり」による地元企業の魅力向上を図るため、リーフレット等の配付により、制度への理解を促進する。 ① 若者女性協働推進室と連携し、県南広域振興局が事務局となっている「北上川流域ものづくりネットワーク」（5月9日）及び「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」（6月23日）の総会において、会員企業に周知 ② 各地域の商工会議所や工業クラブの総会等において、団体会員に周知（4月～6月） ・花巻商工会議所、北上商工会議所、奥州商工会議所、一関商工会議所 ・花巻工業クラブ、北上工業クラブ、胆江工業クラブ (2) 就業支援員等による企業訪問や市町で実施する制度認定対象セミナー等の女性活躍促進事業との連携により、認定企業の拡大を図る。
若者のキャリア形成支援	2 高校生対象の企業情報ガイダンスや社会人セミナー等の実施 女性の県内定着の促進を図るため、「女性が活躍できる職場環境づくり」に積極的に取り組む地元企業を知る機会や県南地域へUターンして働く魅力を伝える機会を提供する。 (1) 企業情報ガイダンス 就職希望者を対象に、地元企業への理解を促進するため、地元企業紹介ガイダンス等を実施 (2) 職業意識・地元志向醸成セミナー 進学希望者等を対象に、地元で働くことの意識を醸成するため、進学後にUターンにより地元で働く若者を話者とするセミナーを実施



北上川流域
ものづくりネットワーク総会

事業名（項目名）	内 容
職場や地域におけるアンコンシャス・バイアスへの理解促進	3 若者・女性に選ばれる職場・地域づくりの推進 令和7年度県南広域圏首長懇談会において、「<u>若者・女性に選ばれる職場・地域づくり</u>」をテーマに意見交換を行った際の各首長からの意見を踏まえ、アンコンシャス・バイアスへの気づきをテーマとした次の取組を実施する。 (1) 行政向け 県や市町の職員、男女共同参画サポーター等による<u>意見交換会の実施</u>（令和9年2月予定） (2) 事業者向け 企業経営者層向けの<u>セミナーの開催</u>（若者女性協働推進室との共催）（9月～10月予定） （参考：主な首長意見） ・女性の場合、地方は住みにくい。<u>ジェンダーギャップが大きく、特に高齢の世代と（若者女性との）考え方が違うとの声もある。</u> ・「仕事」と「暮らし」の捉え方であるとか、東京・仙台への就職、外国人に対する意識であるとか、<u>マインドを変えていくことだと思っている。</u><u>市民や企業経営者のマインドを変えないと「若者や女性に選ばれる職場・地域づくり」は成り立たない。</u>

【部局名：沿岸広域振興局】

事業名（項目名）	内 容
「さんりくジェンダーギャップ解消プロジェクト」の推進	職場におけるアンコンシャス・バイアスへの気づきやジェンダー・ギャップ解消に向けた取組を 広域で展開し、若者・女性に選ばれる地域づくりを進めるため、次のとおり、さんりくジェン ダーギャップ解消プロジェクトを推進する。 1 キックオフミーティングの開催（7月21日(火) 釜石市） ○沿岸圏域内の経営者等を対象にして、「さんりくジェンダーギャップ解消プロジェクトキ ックオフミーティング」を開催する。 【概要】 日時：令和8年7月21日(火)13：30～16：30 会場：釜石市民ホール TETTO ※オンライン配信あり 対象：沿岸圏域内の経営者及び地域団体のトップ層 等 主な登壇者 ■基調講演 (株)Will Lab 代表取締役 小安 美和 氏 ■取組紹介 気仙沼商工会議所 会頭 菅原 昭彦 氏 ■パネルセッション モデレーター：(株)Will Lab 代表取締役 小安 美和 氏 パネリスト：小野食品(株) 代表取締役 小野 昭男 氏 社団医療法人新和会 宮古山口病院 看護部長 飛澤 朗子 氏 気仙沼商工会議所 会頭 菅原 昭彦 氏 (株)共伸 代表取締役 畠山 伸治 氏

**さんりくジェンダーギャップ
解消プロジェクト
キックオフミーティング**
～若者・女性に選ばれる企業になるには～

お申し込み方法は
裏面にご覧ください

令和8年7月21日(火)
13：30～16：30（開場13：00）
会場：釜石市民ホールTETTO ホールA

若者・女性に選ばれる地域づくりを目指し、
職場におけるアンコンシャス・バイアスへの気づきやジェンダーギャップ解消の重要性を共有し、
企業の人材確保・定着や生産性向上につながる取組を推進するため、
「さんりくジェンダーギャップ解消プロジェクト」のキックオフミーティングを開催します。

基調講演
13:35～
アンコンシャス・バイアスを超えて
～若者・女性に選ばれる企業が実践していること～
株式会社Will Lab 代表取締役 小安 美和 氏

取組紹介
14:45～
気仙沼市ジェンダーギャップ
解消プロジェクトについて
気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト共同代表
気仙沼商工会議所 会頭 菅原 昭彦 氏

パネルセッション
15:15～
若者・女性に選ばれる企業になるには
株式会社Will Lab 代表取締役 小安 美和 氏
気仙沼商工会議所 会頭 菅原 昭彦 氏
社団医療法人新和会 看護部長 飛澤 朗子 氏
小野食品(株) 代表取締役 小野 昭男 氏
株式会社共伸 代表取締役 畠山 伸治 氏

本ミーティングは、「いわて女性活躍企業認定制度」における「ステップ1」及び「ステップ2」の
認定要件となる研修に相当します。※「いわて女性活躍企業認定制度」については裏面に詳しくご
確認ください

主催：岩手県 岩手県沿岸広域振興局企業部経営企画課
お問い合わせ TEL:0193-27-5521

	<u>2 企業向けモデル事業の実施（8月～2月）</u> (1) 集合ワークショップの開催 ○沿岸圏域内の企業を対象にして、ジェンダー・ギャップ等の解消に向けた働き方改革の取組が自社の経営課題の解決につながることを体感するワークショップを開催する。 (2) モデル企業への伴走支援 ○モデル企業を選定し、支援機関による伴走支援を受けながら、自社の課題を把握・分析し、その解決に向けた具体的な取組を実践する。 (3) 成果報告会 ○モデル企業の取組成果を共有する報告会を開催し、圏域内での横展開を図る。 <u>3 若者向け異業種交流会の開催</u> ○圏域内の様々な業種に従事する若者の交流を図り、「横のつながり（地域同期）づくり」を促進するとともに、仕事や地元の魅力を再認識する機会となる異業種交流ワークショップを開催し、地域定着率を高める。
いわてさんりく働き方改革推進運動	女性が働きやすい環境づくりの更なる底上げを図るため、国の「えるぼし認定」等の取得に向けた企業支援に取り組む。 <u>1 女性活躍認定セミナーの開催</u> ○岩手労働局等の関係機関と連携し、国の「えるぼし認定」等の取得を視野に入れた内容を取り入れるなど、より実践的かつステップアップしたセミナーを開催する。 <u>2 女性活躍企業等認定取得に向けた伴走支援</u> ○女性活躍認定セミナーを受講した企業に対し、引き続き、女性活躍企業等認定取得の支援を行うとともに、よりステップアップする国の「えるぼし認定」等の取得に向けた伴走支援に取り組む。 えるぼし・プラチナえるぼし認定マーク

【部局名：県北広域振興局】

事業名（項目名）	内 容
北いわて若者・女性活躍推進事業【広域振興事業】 （ジェンダーギャップ等の解消に向けた取組） 【R8 新規事業】	① 局横断型の「県北広域振興局人口減少対策プロジェクトチーム」による施策展開 ・本年3月に局内の若手・女性職員を中心としたプロジェクトチーム（46名）を設置 ⇒プロジェクトチーム全体会議等を開催（4/23、5/28、6/5） 取組の方向性や進捗状況をワーキンググループやメンバー間で確認・共有 ・ジェンダーギャップ解消等の人口減少対策を3つのワーキンググループにより検討し、局全体での重層的な取組を展開 ＜ワーキンググループ＞ Teamアース【大地】（農林水産業等の一次産業） Teamリーフ【葉】（製造業・建設業等の二次産業） Teamミモザ【花】（若者女性活躍） ⇒ワーキンググループにおいて、農業、林業、水産業、建設業の4つ産業分野毎に、共に課題・改善策を検討する民間からのワークショップ参加者（25名）を選定（～6月） ② 若者・女性が感じているジェンダーギャップ等の可視化 ・各産業分野における課題の可視化 地域社会におけるジェンダーギャップ等の課題を産業分野毎に可視化するため、有識者をファシリテーターとするセミナーやワークショップを開催 ⇒第1回セミナー・ワークショップを開催（7/15、7/21） アンコンシャス・バイアス研修などにより、民間メンバーと取組の方向性を共有 2回目以降のワークショップにより、課題の可視化、意見取りまとめ（9～10月） ・可視化された課題の解決策の検討 ⇒ワークショップで可視化された課題を基に改善に向けた方策を検討（11～12月） ③ 地域のリーダーや企業の経営層と課題を共有し、改善に向けた取組を推進 ・地域のリーダーや企業の経営層と可視化された課題等を共有し、若者・女性に選ばれる地域となるための方策を共に考えるための「北いわてトップリーダーズ・アクションフォーラム」を開催（3月上旬に久慈市内で開催予定）

北いわて仕事・暮らし
サポート事業【広域振
興事業】

(ジェンダーギャップ等
の解消に向けた取組)

(若者・女性活躍支援
に向けた取組)

【R8 新規事業】



(参考) シンボルマーク

カシオペア若者・女性
チャレンジ応援事業

【地域経営推進費】

(若者・女性活躍支援
に向けた取組)

【R8 新規事業】

- ・「北いわて未来づくりネットワーク」において、**県北地域の企業の経営者・管理職等を対象**とした「誰もが働きやすい職場づくりセミナー（仮称）」を開催し、**アンコンシャス・バイアスに関する講演を実施予定（10月に二戸市内で開催予定）**



(参考) 令和7年度講演の様子

県北地域の若者・女性が気軽に集い、語り合い、地域課題に主体的に向き合うためのネット
ワーク「NEXT ROOTS」の運営を支援し、若者・女性の新たなチャレンジや地域活動への参
画を促進

- ・新たな若者・女性の参画を促進し、世代交代による担い手の循環が生まれる**持続可能なネットワーク運営**を支援
⇒NEXT ROOTS 会合に局のプロジェクトメンバーが参画し、情報交換（随時）
- ・SNS等の活用による情報発信を支援し、地域における**若者・女性の活躍機運**を醸成
⇒シンボルマーク作成（5月）、Instagramアカウント開設（5月）、HP開設（6月）
- ・地域課題の解決に向けた取組や**メンバーの新たな挑戦を実践**するための事業内容の検討を支援
⇒NEXT ROOTSのメンバー間で、挑戦したい課題を議論・設定（～7月）
課題解決等に必要なノウハウを学ぶ「北いわて未来勉強会」を開催（8～9月）
課題解決のためのチャレンジ事業計画書を取りまとめ、局に提案（～12月）

若者・女性が気軽に集い、語り合うことができる「ゆるやかなつながりの場」を創出

- ・「ローカルチャレンジ・カフェ」の開催により、地域の魅力や挑戦したいことを共有し、主体的に地域づくりや地域活性化に取り組むことができる**人材を発掘・育成**
⇒ローカルチャレンジ・カフェへの参加者を選定中（計4回開催予定）
- ・SNS等の活用による情報発信を支援し、地域における**若者・女性の活躍機運**を醸成
⇒SNSアカウント開設準備中

いわて女性の活躍促進連携会議における令和8年度事業について

1 令和8年度取組方針

女性に選ばれる職場環境づくりや、女性の所得向上につながる支援等を一層強化していくとともに、職場や家庭、地域におけるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）への気づきや固定的性別役割分担意識を解消していくための啓発活動を推進する。

2 女性活躍支援の強化

(1) 若者や女性が活躍できる職場環境づくり

ア 女性活躍企業認定のメリットの拡充

「いわて女性活躍応援サイト」による認定企業等のPR強化により、認定制度の普及と優良事例の他企業への波及を促進



(参考) いわて女性活躍企業認定数 (R8年7月末現在)

	H29~R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	合計
ステップ1	97	52	46	39	26	121	9	390
ステップ2	140	51	53	33	48	39	10	374
合計	237	103	99	72	74	160	19	764

(参考) えるぼし認定企業数 (プラチナえるぼし含む) (R8年6月末現在)

青森県	秋田県	岩手県	宮城県	山形県	福島県	全国
24	26	38	49	42	41	4,450

イ 女性活躍推進セミナーの充実（令和8年9月以降に順次開催）

女性が働きやすい職場環境づくりや女性のキャリア形成のため、各種セミナーを開催

経営者・管理職 向けセミナー	〔内容〕「女性活躍推進」及び「仕事と家事・育児の両立支援」に向けた考え方や必要性について、経営者や管理職の理解促進、意識改革を促すセミナー 〔人数〕70名程度 〔開催形式〕オンライン
女性社員向け セミナー	〔内容〕女性社員が目指したいキャリアについて考えるためのセミナー ・若手社員向け：テーマ「若手社員向けのキャリアデザイン」 ・中堅職員向け：テーマ「管理職やリーダーとして活躍するための環境づくり」 〔人数〕各70名程度 〔開催形式〕オンライン
人事・労務担当 者向け研修 【新規】	〔内容〕女性が働きやすい環境づくりを促進するため、企業の女性活躍の取組をステップアップさせるためのノウハウ・スキルを学ぶ実践的講座 ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定支援セミナー ・「えるぼし認定」取得支援セミナー 〔人数〕各20～30名程度 〔開催形式〕参集
男性社員向け セミナー	〔内容〕女性活躍推進に向けた考え方や必要性について、男性社員の理解促進、意識改革を促すセミナー 〔人数〕70名程度 〔開催形式〕オンライン

（3）固定的性別役割分担意識の解消

ア 職場・地域等における固定的性別役割分担意識の解消【拡充】

令和7年度に新たに委嘱した「いわて女性活躍アドバイザー」による、経営者や管理者層、経済団体、や企業などを対象とした講演会やワークショップ及び県男女共同参画センターによる企業向け出張セミナーを通じて、性別に関するアンコンシャス・バイアスへの気づきを促す啓発活動を広く展開

イ アンコンシャス・バイアスへの理解促進を図る研修テキストの作成【新規】

アンコンシャス・バイアスの知識や事例を盛り込み、理解と気づきを促すテキストを作成し、ジェンダー平等に向けた県民の理解と行動変容を推進

(4) 家事・育児時間のジェンダーギャップ解消

ア 家事・育児シェアの普及推進

家事・育児シェア率診断応募キャンペーンや、企業や市町村等主催の県民参加型イベントへの「家事・育児シェアシート」体験ブースの出展等によるプロモーションなど、夫婦や家族が協力して家事・育児を行う意識を醸成

イ 家事・育児のアウトソーシング促進【新規】

企業の従業員を対象に家事代行サービスの利用モニターを実施し、福利厚生としての導入可能性や効果を検証するとともに、利用イメージの共有を通じて県民や企業の理解を促進



最終結果画面



画像保存機能

【家事・育児シェア率診断サイトリニューアル（令和8年8月5日～）】

- ・ カテゴリー毎の診断結果に加え、最終画面で全体の集計結果（結果まとめ）を表示
- ・ 最終画面の保存機能を追加

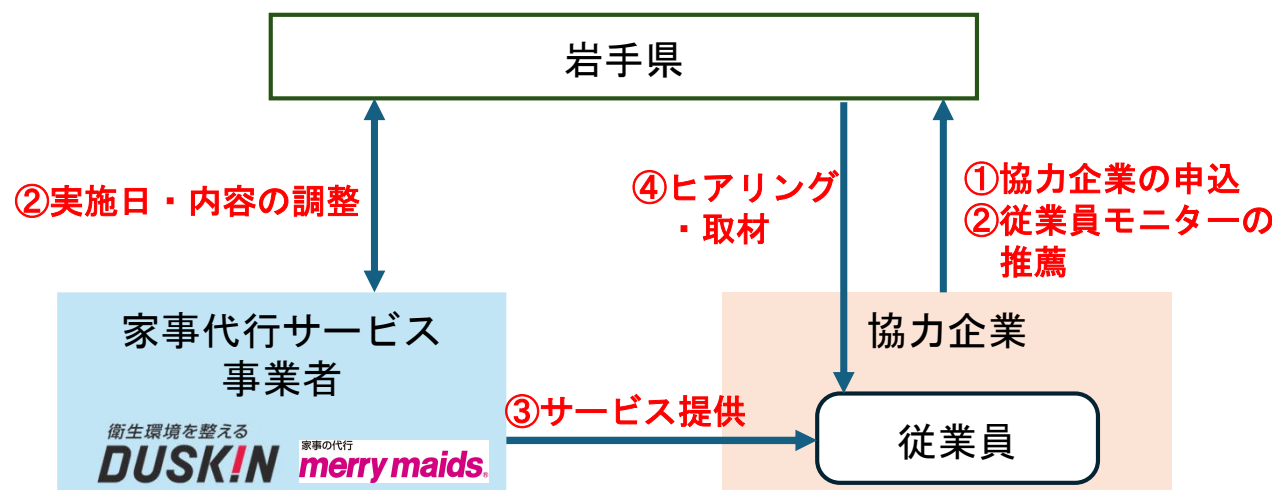
結果を一目で共有でき、家事・育児の分担を気軽に話し合うきっかけに。

さらに、保存結果の見返しや比較により、日々の分担の見直しへ！！

家事代行サービス利用促進の取組（事業スキーム・スケジュール）

県内企業の協力のもと、従業員を対象とした家事代行サービスモニター事業を実施

- サービス利用を通じて家事負担軽減の効果や利用ニーズ、意識の変化等を把握
- 得られた成果や事例を活用した県民向け広報の実施
- 検証結果の企業等へのフィードバック



<モニター協力企業募集の概要>

■対象

県内に本社又は事業所がある企業・団体

■モニター内容

家事代行サービス体験

- ・ サービス体験（１～２回）
- ・ 体験前後のアンケート
- ・ ヒアリング・取材への対応

■参加費

無料

■募集企業数

５～１０社

スケジュール

７月１３日～７月３１日

家事代行サービスモニター協力企業公募

８月以降～

モニター事業開始（企業の従業員によるサービス利用・検証）

１１月以降～

企業フィードバック、事例・取材を活用した広報展開

モニター事業の検証結果を踏まえ、家事代行サービスの利用促進を図るとともに、企業における福利厚生としての導入促進に向けた検討を進める。

あわせて、仕事と家庭の両立の実現に資する施策の展開につなげていく。

《委員・構成団体》 【女性消防職団員 6 名と構成団体】

長谷川 みなみ 氏（盛岡地区広域消防組合） 伊 藤 ト ヨ 氏（奥州市消防団）
 千 田 沙緒理 氏（奥州金ケ崎行政事務組合） 高 宏 美 鈴 氏（遠野市消防団）
 藤 原 神 奈 氏（盛岡市消防団） 樋 口 智 佳 氏（一戸町消防団）

岩手県消防長会
 公益財団法人岩手県消防協会
 岩手県女性消防連絡協議会
 岩手労働局
 岩手県教育委員会

《令和 7 年度の実績》

- 1 防災部会の開催（第 1 回：R7. 6. 25）
 令和 7 年度の実績内容を協議
 （※ 2 回の開催を予定したが、2 回目は鳥フルのため中止）
- 2 取組実績
 - (1) 女性消防職員関連
 - ア 全国女性消防吏員交流会への派遣（1 名）（R7. 10. 25）
 - イ 県内女性活躍推進会議（※後発地震注意情報発令のため中止）
 - ウ 県内女性消防吏員研修会（参加者39名）（R8. 2. 6）
 - エ いわて就職マッチングフェアへの参加（2 回R8. 2. 14、3. 15）
 - オ 部会委員と女性消防吏員との意見交換会（2 回）
 （R7. 7. 29遠野市消防、R7. 9. 17二戸消防）
 - (2) 女性消防団員関連
 - ア 部会委員と県内女性消防団員との意見交換会（R7. 7. 21）
 - イ 部会委員と県内学生消防団員との意見交換会（R7. 10. 5）
 - ウ 部会委員と県内女性消防協力隊との意見交換会（R7. 12. 8）
 - エ 盛岡大学、県立大学祭での消防団活動のPR
 （R7. 10. 11盛岡大学、R7. 10. 25県立大学）
 - オ 女性団員募集の取組や活躍事例の収集・提供（R7. 8. 19提供）
- 3 市町村・消防本部との連携
 - (1) 市町村消防団事務担当者意見交換会（R7. 8. 29）
 - (2) 消防本部人事担当者会議（R7. 12. 24）

【参考】女性消防職団員の状況（R8：速報値）

	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
吏員	県	人数	44人	49人	56人	61人	66人	76人	76人
	割合	2.2%	2.5%	2.8%	3.0%	3.3%	3.7%	3.5%	3.7%
	全国	割合	2.9%	3.0%	3.2%	3.4%	3.5%	3.6%	3.7%
団員	県	人数	499人	490人	497人	480人	501人	529人	549人
	割合	2.3%	2.3%	2.4%	2.4%	2.7%	2.8%	3.0%	3.7%
	全国	割合	2.9%	3.0%	3.2%	3.4%	3.5%	3.6%	3.1%

《令和8年度の実績》

- 1 防災部会の開催（R8. 6. 3）
 女性消防職員及び女性消防団員活躍の現状や課題、今後の取組の方向性などについて意見交換
- 2 取組内容
 - (1) 女性消防職員関連
 - ア 全国女性消防吏員交流会派遣（横浜・10月頃）
 - イ 県内女性活躍推進講習（R8. 12. 10）
 - ウ 県内女性消防吏員研修会（R8. 2月頃）
 - エ 就職活動を行う学生等へのPR強化（マッチングフェア等）
 - オ 部会委員と女性消防吏員との意見交換会（未定）
 - (2) 女性消防団員関連
 - ア 部会委員と県内女性消防団員との意見交換会（未定）
 - イ 部会委員と県内学生消防団員との意見交換会（10月頃）
 - ウ 部会委員と県内女性消防協力隊との意見交換会（8月頃）
 - エ 盛岡大学、県立大学祭での消防団活動のPR
 - オ 県庁内県民室での女性消防団活動のパネル展示【新規】
 - カ いわて女性と若者消防団入団促進事業の実施（消防庁モデル事業）いわてビッグブルズとの連携等【新規】
- 3 市町村・消防本部との連携
 - (1) 消防本部人事担当者会議（R8. 5. 29）
 - (2) 市町村消防団事務担当者意見交換会（R8. 8. 7）

【県内女性消防団員との意見交換会】



【学生消防団員との意見交換会】

《構成団体・委員》

学校法人盛岡大学短期大学部	認定NPO法人いわて子育てネット
日本保育協会岩手県支部	岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会（岩手県社会福祉協議会）
岩手県私立保育園連盟	岩手県小学校長会

《令和7年度の実績》

○今後の施策展開に向け、次のテーマについて検討

■ライフステージに応じたライフデザイン支援の取組について〔R7.9月〕

<主な意見>

- ・すべてのライフステージへ対象の拡大が必要
- ・健康、生活設計含む人生全体を考える教育が重要
- ・講義ではなく、ワークショップなど体験型の取組が有効

■困難を抱える子どもや子育て世帯の支援について〔R8.2月〕

<主な意見>

- ・子どもが安心して相談できる場や、声をあげられない子どもへの対応が必要

⇒委員からの意見を下記の取組に反映

- ・R8新規事業として、**プレコンセプションケア**の若い世代への普及啓発を図るため、新たに学生等とともにその手法等を検討する**ワークショップ**を実施予定

- ・児童虐待防止アクションプラン（（2026～2030）において、**子どもの意見表明支援**を明記

児童虐待防止アクションプラン

岩手県では、「児童虐待防止アクションプラン」という、子どもたちを虐待から守るための計画をつくりました。

【プランの目指す姿】

いわての子どもたちがけがをしたり、つらい気持ちにならないようにします。親も子どもを支えられ、子どもたちの「助けて」の声をきける仕組みをつくります。

子どもの権利が大切にされる岩手県を目指します。

このプランは子どもたちの声を参考にしました。

（例）岩手県子どもモニターアンケート結果で最も多かった意見
「親がこまったときに安心して相談できる場所をふやす」
「子どもが相談したときにちゃんと話を聞いてくれる人をふやす」

この2つを【プランの目指す姿】の参考にしました。

《令和8年度の実績》

○部会設置の目的である「待機児童の解消」について、待機児童数は年々減少し、改善の傾向にある。
待機児童数：176人（H29年）⇒0人（R8.4月）

○今後の部会の方向性を検討するため、令和8年度は、新しい女性活躍の視点から、様々な困難に直面した後に、ライフデザインを描きなおした女性とともに、**こどもと女性のウェルビーイングの向上（仮）**について、自由に意見交換を行う。

《構成団体・委員》 【女性の経営者、役員、管理職や起業された方7名】

工 藤 昌 代 氏	(株)ホップス 代表取締役)	山 田 智 子 氏	(株)山田酒店 取締役)
佐々木 祐 子 氏	(東京土地販売(株) 代表取締役)	渡 邊 さやか 氏	(株)re:terra 代表取締役)
佐 藤 智 栄 氏	(株)サトウ精機 代表取締役社長)	渡 邊 里 沙 氏	(有)秀吉 取締役)
畠 山 いずみ 氏	(株)北日本銀行)		

《令和7年度の取組実績》

部会の開催

令和6年度に作成した提案書の実現に向け、アンコンシャス・バイアスによる悪影響の低減を目指した、経営者が気軽に取り組めるチェックシートを検討

▶ 部会内の意見交換

- 5/19：R7活動計画に関する意見交換、提案書に係る県の取組状況の共有

▶ 岩手県中小企業家同友会との連携

- 7/25：アンコンシャス・バイアスと企業経営の関係を深く掘り下げるための意見交換を実施
- 9/16：同友会が作成したチェックシートを同友会会員とともに試行



▶ 思い込みチェックシートの検討

- 12/25：企業の経営者や管理者がアンコンシャス・バイアスによる誤った判断を回避し、経営への悪影響を低減するため、より気軽に取り組めるツールが作成できないか検討
- 2/10：提案書に係る県の取組状況の共有、12月の意見を基にした経営者の思い込みに関するチェックシートについて、再度意見交換を実施



情報発信

▶ X（旧Twitter）、Facebookによる発信

- 誰もが働きやすい職場環境づくりに関する情報や、部会活動について発信

《令和8年度の取組》

部会の開催

▶ ジョブカフェいわてとの意見交換

- 6/2：令和7年度から検討を行ってきたチェックシートについて、最新の状況も踏まえた意見交換を実施



▶ 他団体との意見交換

- 多様な視点からの意見を取り入れ、シートをブラッシュアップしていくため、今後も複数の団体等との意見交換を実施予定

▶ チェックシートの公表

- 検討後のチェックシートは、年度内の公表を予定

情報発信

▶ X（旧Twitter）、Facebookによる発信

- 誰もが働きやすい職場環境づくりに関する情報や、部会活動について引き続き発信



《構成団体・委員》

※ 女性農林漁業者（8名）と構成団体

會澤 麻希子 氏（林業・北上市）	菅原 紋子 氏（農業・雫石町）
大森 友紀子 氏（農業・紫波町）	中村 菜摘 氏（漁業・宮古市）
岡田 真由美 氏（漁業・大船渡市）	福士 好子 氏（農業・岩手町）
小泉 花衣 氏（農業・奥州市）	細川 睦 氏（農業・雫石町）

【構成団体】

一般社団法人岩手県農業会議	岩手県漁業協同組合連合会
岩手県農業協同組合中央会	岩手県農山漁村女性組織連携会議
岩手県森林組合連合会	岩手県

農林水産業をもっと魅力的に。

キャッチフレーズ **新3K**

輝き

らしく、楽しく、
輝く自分

絆

つなぐ、つなげる、
仲間の**絆**

希望

しっかり、かせげる、
希望の未来

《令和7年度の取組実績》

1. 農林水産業で働く女性就業者の確保

● 移住フェア『THEいわてDAY』における農林水産業の魅力発信

⇒移住希望者に対し、岩手の農林水産業をPR（東京都、R7.8.30）



移住フェアでの魅力発信

● 県内の大学生との意見交換

⇒農林水産業に対するイメージ等について意見交換（R8.1.22）

● SNSを活用した取組の発信

⇒県公式YouTubeチャンネルを活用したPR動画への部会委員の出演による発信（女性漁業者2名）

2. 女性活躍に関する意識改革の推進

● 女性が働きやすい環境づくりに取り組む先進企業との意見交換

⇒「いわて女性活躍認定企業」の森下水産株式会社（大船渡市）の取組を学び、理解を深めた（R8.2.13）

● 『女性農林漁業者の活躍のための提言』『新3K』のPR

⇒アンコンシャス・バイアスに関する理解促進を図るため、女性漁業者による「いわて農林水産躍進大会」での事例発表（R7.12.23）

3. 課題解決に向けた取組

● 女性活躍推進セミナー

⇒アンコンシャス・バイアスに関する基調講演やパネルディスカッションを通じて理解醸成を図った（R7.11.11、参加者225名）

《令和8年度の取組》

【取組の方向性】

- 女性農林漁業者の更なる確保に向け、本県農林水産業の魅力発信の強化
- 農山漁村地域での女性の働きやすい環境づくりに向け、意見交換の実施

1. 女性農林漁業者の確保

- 移住フェア『THEいわてDAY』での農林水産業の魅力発信（東京都、R8.8.30）
- U・Iターン希望者等との交流座談会 **新規**（東京都、R8.9）

2. 女性の働きやすい環境づくり

- 意欲ある女性農林漁業者を対象としたセミナーの開催（R8.11）（テーマ案）地域活性化、女性・若者活躍、働き方改革など
- 農林漁業への就業を希望する若者等との意見交換（R9.1）
- アンコンシャス・バイアスへの気づきや見直しに積極的に取り組む企業との意見交換（R9.2）

《構成団体・委員》 【（一社）岩手県建設産業団体連合会から13団体及び岩手県】

会長 上野 千寿子 （一般社団法人岩手県建設業協会）
 佐藤 万寿美 （一般社団法人岩手県建設業協会）
 福田 弥貴子 （一般社団法人岩手県建設業協会）
 玉山 直美 （岩手県鉄構工業協同組合）
 熊谷 さやか （一般社団法人岩手県測量設計業協会）
 吉田 蘭 （一般社団法人岩手県警備業協会）

副会長 工藤 監子 （一般社団法人岩手県電業協会）
 木下 光子 （一般社団法人岩手県建設業協会）
 千田 真紀子 （一般社団法人岩手県空調衛生工事業協会）
 川上 冴華 （一般社団法人岩手県塗装工業会岩手県支部）
 浅野 環 （岩手県アスファルト合材協会）
 櫻庭 志歩 （岩手県）

《令和7年度の取組実績》

1 経営者等に対する女性が働きやすい職場環境整備への理解促進に向けた取組

- 先進事例現場見学会（6月6日 17名参加）
生産性の向上や労働環境改善に取り組む先進事例として、成瀬ダム工事現場の見学会を開催
- 女性活躍推進講座の開催（9月8日 41名参加）
建設業界が性別にかかわらず誰もが働きやすい業界となるため、「アンコンシャス・バイアス」をテーマとした講座を開催

参加者からは、「いかに会社の昔からの風習に捉われていたのかを痛感した」、「女性だからさせてはいけない業務と勝手に線引きをしていた」、「来年度も開催していただきたい」など、気づきがあった旨の感想が多数

- 女性が働きやすい職場環境に関する取組状況調査（7～9月）
建設企業の従業員を対象に取組状況等に係るアンケート調査を継続実施
- 情報発信（随時）
県土整備部SNS、メール配信の活用により、部会活動、セミナーの周知等を実施

2 建設業の魅力発信

- いわて建設業みらいフォーラム（10月30日 高校生等428名参加）
 - ・ 企業展示でけんせつ小町部会のブースを設置し、建設業の魅力PR
 - ・ 委員がパネルディスカッションに参加し、仕事内容や地元で働く良さをPR

来場者からは、「ロビー展示は女性が多く視野が広がった」、「最近では女性も働いている、福利厚生がしっかりしている等建設業のイメージが180°変わった」「男女や年齢に関係なく働ける環境づくりをしてほしい」等の回答

- 岩手大学主催の理系の魅力発信イベントへのブース出展（7月12日）

《令和8年度の取組》

【取組の方向性】

「けんせつ小町部会提言書」に掲げる誰もが働きやすい建設業界を目指し、各種講座、調査のほか、建設業の担い手確保に向けた取組を実施する。

1 誰もが働きやすい職場環境整備の促進に向けた取組

- 異業種研究会（11月） **新規**
他業種企業の誰もが働きやすい職場環境整備等に取り組んでいる事例の紹介・意見交換の実施
- 女性活躍推進講座（8～10月）
「アンコンシャス・バイアス」をテーマとした講習会の実施
- 誰もが働きやすい職場環境整備に関する取組状況調査（7～9月）
建設企業の従業員等を対象に、働きやすい職場環境整備に関する取組状況の調査を継続実施
- 情報発信（随時）
 - ・ 県土整備部SNSによる部会活動や女性活躍に取り組む企業のPR
 - ・ メール配信による県の女性活躍関連施策等の周知



2 建設業の魅力発信

- いわて建設業みらいフォーラム（10月26日）
高校生の相談対応や建設業で働く女性をPR
- 中学生との交流会（9～10月） **新規**
ワークショップや技術体験等を通じ、社会インフラの重要性と建設業の役割・魅力を伝え、若年層の建設業への理解及び入職促進を図る

《構成団体・委員》

佐々木 亜沙美（盛岡信用金庫）
 照井 りえ（信幸プロテック株式会社）
 小泉 花衣（農業）
 佐藤 淑子（国立大学法人岩手大学ダイバーシティ推進室）
 小嶋 美沙子（公立大学法人岩手県立大学看護学部）

花田 咲香（盛岡市市民部市民協働推進課男女共同参画推進室）
 鬼柳 悠子（北上市まちづくり部地域づくり課）
 鈴木 恭子（大船渡市協働まちづくり部男女共同参画室）

《令和7年度の取組実績》

◆ ミーティングの開催

◇ 令和8年2月20日（金）

・ アンコンシャス・バイアスセミナー

“無意識”に潜む思い込みを見つめなおそう

【講演】

「アンコンシャス・バイアスを知る、気づく、対処する」

【講師】

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所

代表理事（いわて女性活躍アドバイザー） 守屋 智敬 氏

◆ いわて働く女性のネットワークサークル イワテナ

「イワテナ」×「アテナ（ギリシャ神話の女神）」
 →「いわての女神たちが語り合う場」の意

令和4年8月～

「いわて働く女性のネットワークサークル」イワテナ
 県内の企業・団体等に勤務する女性を公募により募集

※メンバー数 65名(R8.3.31現在)



《これまでの開催状況》

	開催日	テーマ（参加人数）		開催日	テーマ（参加人数）
第1回	R4.8.31	仕事のやりがい（18名）	第5回	R6.2.27	家事・育児のシェア（8名）
第2回	R4.12.18	キャリアアップ（12名）	第6回	R6.8.29	固定的性別役割分担意識（8名）
第3回	R5.3.14	コミュニケーション勉強会（14名）	第7回	R7.2.3	働く女性のお悩み相談室（12名） 【講師】株式会社パソナ東北創生 代表取締役 戸塚絵梨子 氏
第4回	R5.7.26	仕事と家庭の両立（12名）	第8回	R7.7.18	「女性の流出が止まらない！ 女性に選ばれる社会・地域・会社とは」（6名） 【講師】株式会社aiびじねす 代表取締役 中村夢美子 氏

《令和8年度の取組》

◆ 取組の方向性

・ ミーティングとイワテナを定期的に活動し、参加メンバーのエンパワーメント向上及びネットワーク形成を継続

・ 家事・育児の女性への偏り解消に向けた取組を継続して実施

・ これまでの活動により見えてきた課題について、「いわて女性活躍アドバイザー」監修による、受講者の行動変容につなげることを目的とした研修テキストの作成

◆ 活動予定

	開催日	テーマ
イワテナ	R8.10月頃	メンバーの意向に沿ってテーマを設定
ミーティング	R9.2月頃	女性活躍推進に向けたテーマを設定

◆ 県の施策への反映状況

《これまでの活動により見えてきた課題》

・ アンコンシャス・バイアスへの気づきや見直しを促す機会を設け、**取組を強化する必要がある。**

⇒ **固定的性別役割分担意識解消促進事業**

（令和8年度当初予算額 4,726千円）

- ・ 外部専門人材による講演
- ・ 企業向け出張セミナーの開催
- ・ 研修テキストの作成（R8新規）

岩手県のジェンダー・ギャップ指数(2026)

資料 6

【都道府県版ジェンダー・ギャップ指数】

都道府県ごとの男女の平等度合いを「見える化」したデータ。
共同通信と地域からジェンダー平等研究会が、「政治」「行政」「教育」「経済」の4分野について、2022年から毎年国際女性デー（3月8日）に公表している。

【岩手県の強みと課題（研究会コメント）】

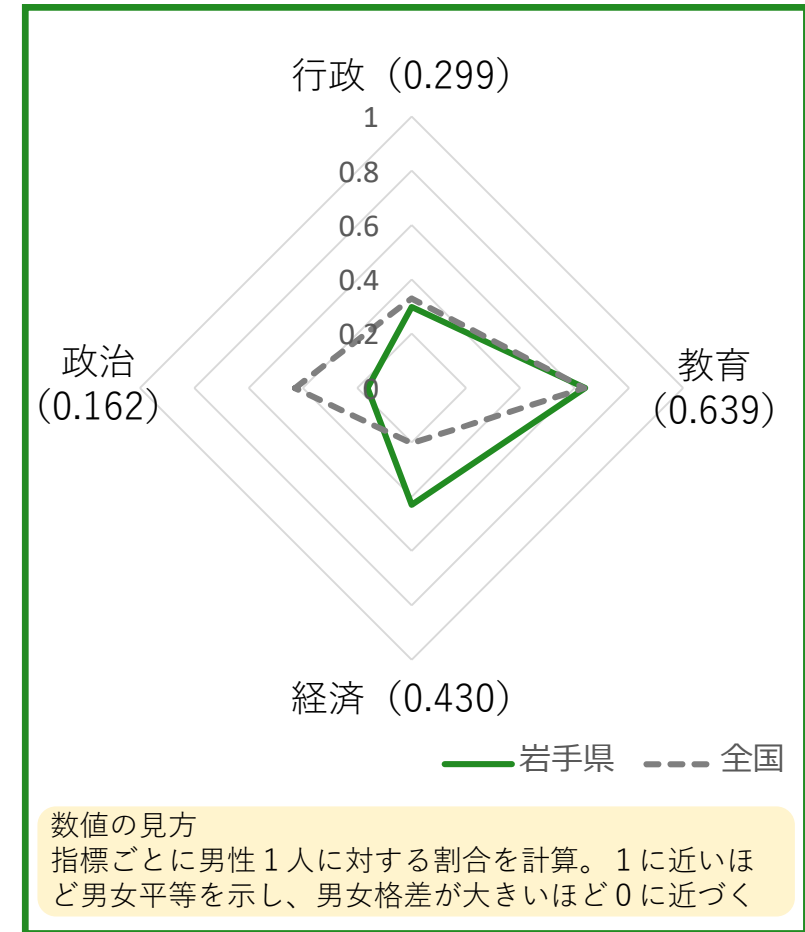
県防災会議への女性参画が進みました。市町村の防災会議でも女性比率が上位です。県全体で、女性の視点を取り入れた防災体制の構築が進みそうです。

県の管理職などは男女差が依然大きく、行政分野の順位はやや低調でした。

教育分野では、小中学校の女性校長の比率に課題がありますが、四年制大学の進学率の平等度は東北地方トップでした。

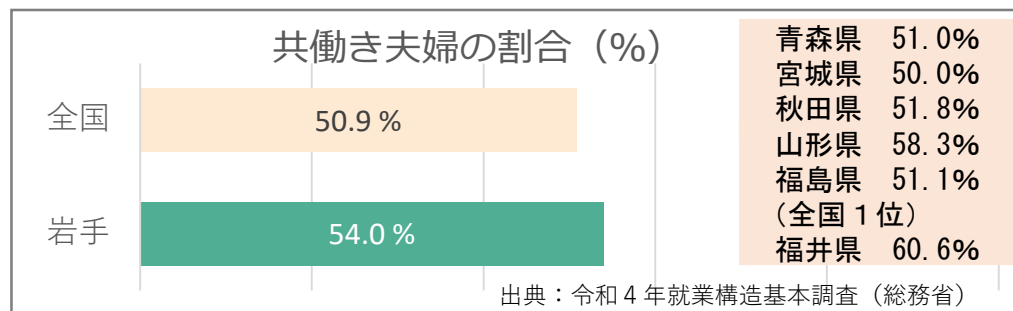
経済分野では、フルタイムで働く人の賃金と共働き家庭の家事・育児時間の男女差が小さく、いずれの指標も上位です。

男女が平等に学び、働き、家事・育児を協力できる環境が整いつつあると言えます。

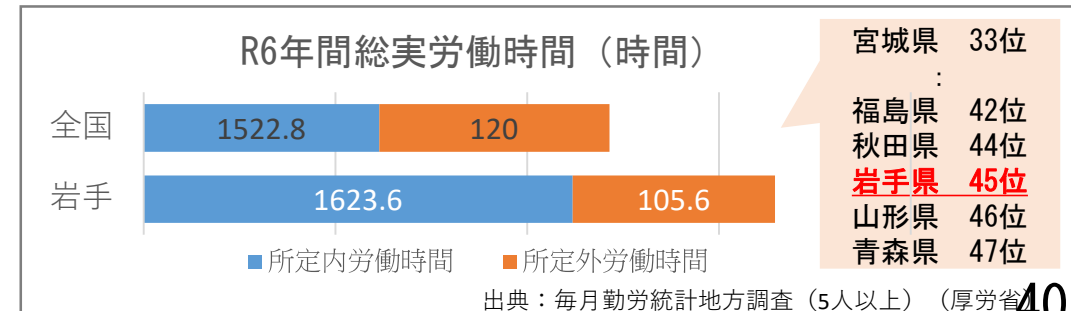


（参考）本県の女性を取り巻く状況

○岩手県は**共働き夫婦の割合が高い**（全国平均+3.1%）



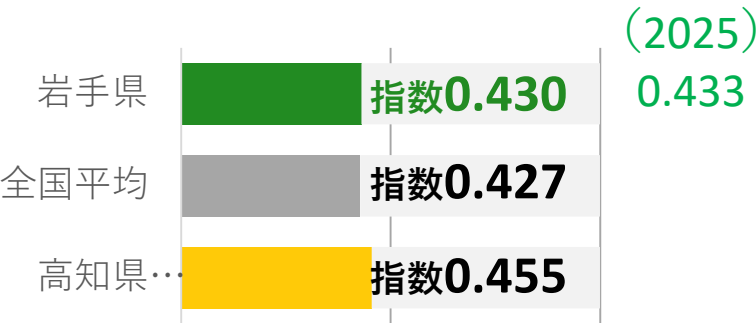
○岩手県の年間総実労働時間は**全国45位**（全国平均+86.4時間）



岩手県のジェンダー・ギャップ指数(2026)

経済

15位



◆ フルタイムで働く人の賃金と家事・育児時間の男女差が小さく、いずれの指標も上位です。

- 就業率の男女差 29位 (0.765)
- フルタイム従事者の男女比 . . . 13位 (0.710)
- フルタイム従事者の賃金格差 9位 (0.786)
- 共働き家庭の家事・育児時間の格差 . . 8位 (0.225)
- 企業や法人の役員・管理職 . . . 30位 (0.166)
- 社長数 36位 (0.147)
- 農協・漁協役員 34位 (0.058)

項目	2023年	2024年	2025年	2026年	備考
分野全体	5 位 (0.374)	14位 (0.430)	10位 (0.433)	15位 (0.430)	東北順位 2 位、全国 1 位：高知県
①就業率の男女差	—	29位 (0.765)	29位 (0.765)	29位 (0.765)	2024年に項目追加
②フルタイム従業者の男女比	10位 (0.714)	4 位 (0.742)	12位 (0.711)	13位 (0.710)	
③フルタイム従業者の男女賃金格差	5 位 (0.791)	13位 (0.780)	2 位 (0.803)	9 位 (0.786)	
④共働き家庭の家事・育児時間の男女格差	8 位 (0.225)	8 位 (0.225)	8 位 (0.225)	8 位 (0.225)	
⑤企業や法人の役員・管理職の男女比	30位 (0.166)	30位 (0.166)	30位 (0.166)	30位 (0.166)	
⑥社長数の男女比	29位 (0.145)	32位 (0.145)	34位 (0.146)	36位 (0.147)	
⑦農協・漁協役員の男女比	11位 (0.140)	37位 (0.057)	35位 (0.056)	34位 (0.058)	2023年までは農協役員のみ

各分野で全国順位が低かった項目

政治

- 衆参両院の選挙区選出議員の男女比（36位）
- 都道府県議会の男女比（34位）

行政

- 都道府県の管理職の男女比（41位）
- 都道府県庁の大卒程度採用の男女比（42位）

教育

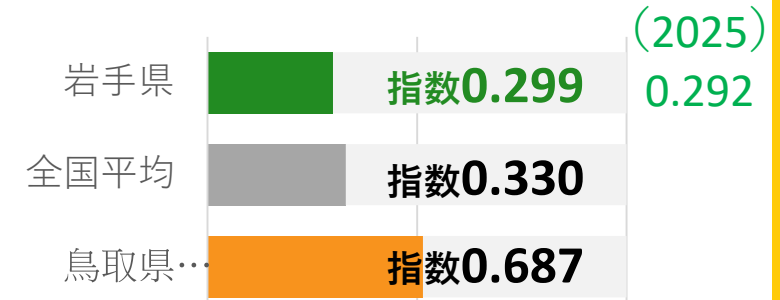
- 中学の校長の男女比（44位）
- 都道府県教育委員会事務局の管理職の男女比（33位）

経済

- 社長数の男女比（36位）
- 農協・漁協役員の男女比（34位）

行政

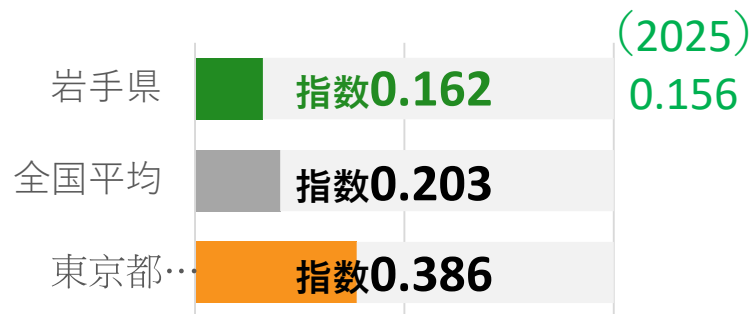
36位



- 都道府県職員の管理職・・・41位 (0.116)
※教育委員会事務局を除く。
- 都道府県の防災会議・・・27位 (0.242)
- 都道府県職員の育休取得率・・・10位 (0.644)
- 市区町村職員の管理職・・・22位 (0.235)
- 市町村の防災会議・・・9位 (0.242)

政治

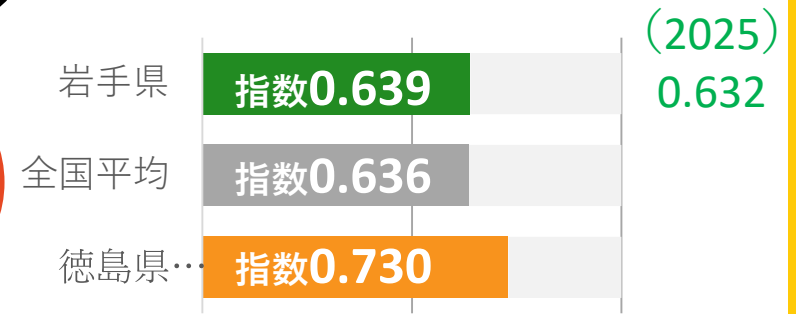
41位



- 都道府県議会議員・・・34位 (0.116)
- 女性ゼロ議会・・・23位 (0.909)
※女性ゼロ議会が一つもないことを「1」とする。
- 市区町村議会議員・・・28位 (0.180)

教育

23位



- 4年生大学進学率・・・9位 (0.974)
- 小学校長・・・32位 (0.353)
- 中学校長・・・44位 (0.079)
- 高等学校長・・・17位 (0.156)

1. 女性人材の採用・定着・育成における課題
2. 女性管理職・役員が少ない要因（業界特性や企業実態を踏まえて）
3. 各団体・企業での取組事例（うまくいった工夫など）
4. 今後取り組み得るアクション（数値目標の設定や業界としての取組など）
5. 行政に期待する支援策

各構成団体における女性活躍推進に向けた令和８年度の取組

1 岩手県商工会議所連合会

令和８年度 取組	1 女性の活躍推進に関する普及啓発・要望 ・会員事業者等に対する各種会議・広報誌等による普及啓発、関係セミナー等への参加の呼びかけ ・女性の活躍推進、多様な人材の活躍、柔軟で多様な働き方の推進に関する国、県等への要望 2 岩手県商工会議所女性会連合会事業による女性経営者等の資質向上と女性経営者ネットワークの構築 (1) 研修事業 (2) 上部団体研修会等への参加 東北六県商工会議所女性会連合会、全国商工会議所女性会連合会等の研修会へ参加し資質向上を図る。 (3) 県内９商工会議所女性会ごとの各種研修事業 3 女性の創業等の支援 (1) もりおか創業スクールの開催 (2) 女性向けの創業融資・補助金支援 いわて起業家育成資金（若者・女性創業支援資金）等の紹介・斡旋・相談 4 女性の働きやすい職場環境づくり・働き方改革の推進・支援 (1) 健康経営の推進による女性の働きやすい職場環境づくりの推進 (2) 専門家派遣事業を通じた女性が働きやすい働き方改革の支援
---------------------	---

2 岩手県中小企業団体中央会

令和8年度 取組	1 働き方改革推進支援事業 女性活躍を含めた働き方改革のための基盤構築や魅力的な職場環境づくり、採用に関する戦略の見直しのほか、人材育成・定着のための組織マネジメント等について、支援事業を実施 （厚労省の「働き方改革推進支援助成金」を活用） ＜主な実施事業＞ ・人材確保定着に関するセミナー（全6回） 〔昨年度(全12回)の参加者数延211名、内女性120名超〕 ・個別相談指導（15回程度） ・求人企業等の魅力発信を目的としたガイドブックの作成（県内各所に配布） ・県内の大学等での企業と学生の交流会の開催（1回） 2 さんりくジェンダーギャップ解消プロジェクト 岩手県沿岸広域振興局との連携により、沿岸地域の中小企業のアンコンシャス・バイアス解消に向けた支援事業の実施を予定 ＜主な実施事業＞ ・アンコンシャス・バイアス解消に向けたワークショップの開催 ・沿岸地域の中小企業が連携したアンコンシャス・バイアス解消のための伴走型支援など 3 協同組合盛岡卸センターによる「提案型インターンシップ」事業（本会会員組合） 本会 藤村会長が理事長を務める協同組合盛岡卸センターにて、昨年度に引き続き、組合員企業の採用・育成の基盤構築を目的とした「提案型インターンシップ」事業を実施 （厚労省の「働き方改革推進支援助成金」を活用予定） 昨年度は組合員企業5社参画のもと、株式会社ルミナス・アンド・カンパニーと連携し、学生による企業の売場改善提案等の実践的な取組によって、学生満足度の極めて高いインターンシップであったことから、今年度も組合員企業およそ5社を対象とした取組を実施
-------------	--

3 岩手県商工会連合会

令和8年度 取組	1 岩手県商工会連合会事業を通じ、女性経営者等の資質向上と交流促進 ①研修事業 ・リーダー研修会を開催（年3回）し、資質向上と交流促進を図る。 ・県内4ブロックごとの研修事業を開催し、資質向上と交流促進を図る。 ②全国連の「女性の創業等支援助成金」の活用周知を図る。 2 通年 女性経営者を含む事業者の経営課題解決や生産性向上等に向けた専門家による個別支援を実施する。 3 8月～10月頃 女性や若者含む創業希望者や新分野進出を目指す第二創業希望者等を対象に、県内各地から受講可能なオンライン創業セミナーを開催する。
-------------	---

4 一般社団法人岩手経済同友会

令和8年度 取組	令和8年度においても8月に「岩手経済戦略会議」を開催することにしており、女性活躍はもちろんのこと、すべての人が地域に誇りを持ち、輝き続ける魅力ある地域、選ばれる地域になるにはどのようなことが必要なのか考え、行動するきっかけづくりに取り組む。
-------------	---

5 一般社団法人岩手県経営者協会

令和8年度 取組	1 会員企業向け階層別セミナーを開催 5月13日 「人事・労務管理者必携、基本的法律知識」 6月18日 「すぐに役立つ！社会保険・労働保険の実務とポイント」 7月17日 「出産・育児休業・育児時短勤務に関する手続きの実務解説」 9月10日 「リスクル 人事・労務担当者のハラスメント対策講座」（予定） （会議開催日以降のスケジュールは予定としております） 2 経営層向け講演会を開催 7月27日 令和8年度第2回経営者懇談会 総合テーマ 「安心・安全な職場環境の整備」 第一部 「ハラスメントのない職場を目指し企業の対応」 第二部 「育児や介護を行う社員の適正な人事マネジメント」 講師 弁護士法人 三島法律事務所 弁護士 真田 昌行 氏（経営法曹会議所所属弁護士 仙台市） ※第128回経団連労働法フォーラム（7月9日・10日）の説明・解説
-------------	---

6 岩手県中小企業家同友会

令和8年度 取組	岩手県中小企業家同友会女性部会 ツキイチ 144 大学
	4月 「生きづらさを抱えた若者が豊かな生活を送れるように」 ニアリーイコール(株) 代表取締役 久ヶ澤 茜 氏
	5月 「企業成長を支える社労士活用」～DX・年金・助成金・人事～ 社会保険労務士法人ワイズコンサルタンツ 所長 山本 正人 氏
	6月 女性部全国交流会参加報告会
	7月 「地域の安全と豊かな自然を両立させるクマとの共生」 盛岡市環境部環境企画課
	8月 「明日もし被災したら？事業を止めないための準備術」 東京海上日動火災保険(株)
	9月 「大嫌いだったアトツギの自分 テレビDから家業へ」～楽しい防災とSNS発信術～ (有)西谷 取締役 西谷 友里 氏
	10月 「脱炭素時代の移動手段とは」～トヨタ車今昔とマルチパスウェイ戦略～ トヨタカローラ岩手(株) 代表取締役社長 塚原 孝一 氏
	11月 「ファッションから建築へ『感性』を仕事に活かす」 (株)エム・クラフト 常務取締役 横澤 麻里 氏
	12月 フリートーク「経営に関する困りごとや悩みを語りましょう」
	1月 「茶の間のように居心地のよい空間をクリエイトする」 茶の間クリエイト 代表 関口 千晶 氏
	2月 「こども食堂を通じて企業が担う地域とのつながり」 NPO法人インクルいわて こども食堂統括 川守田 栄美子 氏
	3月 「遠野唯一の酒造として地域に根ざし挑戦を続ける」 上閉伊酒造(株) 代表取締役 新里 佳子 氏

7 一般社団法人岩手県銀行協会

令和8年度 取組	【いずれも継続案件】 ☆2つの目標 1 役席者の新規登用女性割合を30%以上とする。 (2025年度：42%程度) ※ 現時点で目標クリアしているが、人事案件であり流動的な面もあることから安定的に30%を目指す。 【施策】 ・女性管理職と若手女性行員のキャリア形成セミナー、アンコンシャス・バイアス・マネジメント研修の実施 ・リスクリング支援体制の整備 ・育児休業支援セミナー(復職に向けて) 2 男性行員の育児休業等取得率を80%以上とする。 (2025年度：100%) ※ 現時点で目標クリアしており定着化を目指す。 取得日数10営業日以上とする。 (2025年度：5営業日程度) 【施策】 ・育児休業等相談窓口の設置 ・啓蒙ニュースの発行 ☆その他の支援策 1. リターン採用制度(OB/OG) 2. 嘱託・パートから行員への登用
---------------------	--

8 岩手県信用金庫協会

令和8年度 取組	県内6信用金庫合同研修会の実施 ①職種別、階層別 4 講座の開催（スキルアップ、キャリア形成等） ○渉外基礎講座 令和8年6月 受講者数 目標 15 名（内 女性 30%以上） ○初級融資入門講座 令和8年7月 受講者数 目標 15 名（内 女性 50%以上） ○初級簿記・財務講座 令和8年9月 受講者数 目標 15 名（内 女性 30%以上） ○年金推進基礎講座 令和8年11月 受講者数 目標 15 名（内 女性 50%以上） ②新入職員、入庫2年目職員（若年層）講座の開催（職場定着、スキルアップ等） ○新入職員基礎講座 令和8年4月 受講者数 47 名（内 女性 25 名 53.2%） ○新入職員フォロー講座 令和8年10月 受講者数 47 名（内 女性 25 名 予定 53.2%） ○入庫2年目職員講座 令和8年7月 受講者数 39 名（内 女性 19 名 予定 48.7%） ③東北地区信用金庫及び全国信用金庫協会主催の研修会、専門講座への受講者派遣（キャリア形成、スキルアップ） ○通年開催（約 15～20 講座開催）
-------------	--

9 岩手県農業協同組合中央会

令和8年度 取組	○女性組織活動の活性化支援 ①リーダー育成研修会等の開催 ②情報提供等による運営参画支援 ア. 正組合員に占める女性の割合 目標 30%以上 イ. 総代に占める女性の割合 目標 15%以上 ウ. 理事等に占める女性の割合 目標 15%以上
-------------	--

10 岩手県漁業協同組合連合会

令和8年度 取組	性別を問わず全ての職員が能力を最大限に発揮し、専門性を高めることができる環境づくりを推進しています。令和8年度においては、以下の通り研修会の開催や派遣、実績発表大会を通じた支援を実施いたします。 1 専門スキル向上とキャリア形成支援（研修会の開催） 女性職員の職域拡大や管理職登用を見据え、実務能力の向上と組織管理能力の習得を支援します。 ●組織運営・管理能力の育成 ・漁協管理者研修会、漁協役員・参事研修会 ●実務専門性の強化（税務・会計等） ・漁協初級職員研修会、所得税・消費税確定申告実務研修会、漁協法人税申告実務研修会 ●その他 ・必要に応じて随時研修会を開催し、適正な業務運営と情報共有を図ります。 2 多角的な視点を持つ人材の育成（研修会への派遣） ・外部組織との交流を通じ、多様な働き方やマネジメント手法を習得する機会を提供します。 ・派遣先例：コンプライアンス研修会、JF グループ中堅職員研修会・管理職研修会、その他スキルアップに必要な研修会へ随時派遣。 3 第68回漁村活動実績発表大会の開催 【趣旨】 県内の漁村青壮年及び女性の研究・実践活動について成果発表・研究討議を行い、青壮年・女性漁業者の技術・知識の相互交流と活動意欲の向上を図るとともに、活動成果を広く普及促進することで本県漁業と漁村地域の振興に寄与しようとするために開催します。
-------------	--

11 岩手県森林組合連合会

令和8年度 取組	県内森林組合及び連合会の職員で構成される「岩手県森林組合職員連盟」（佐藤猛 会長）の下部組織である女性部会（佐藤美加子 部会長）が主催し、全国森林組合連合会の職員を招聘し、全国林業女子の活動事例等を学ぶための講演会を開催（予定）。
-------------	--

12 一般社団法人岩手県建設産業団体連合会

令和 8 年度 取組	令和 7 年度と同様に県の「けんせつ小町部会」、岩手県建設業協会が行う事業に連携した取組みを実施。
---------------	---

13 岩手県消防長会

令和 8 年度 取組	【盛岡地区広域消防組合消防本部】 ・盛岡市市民部市民協働推進課男女共同推進室と連携し、女性が活躍できる職業であることを PR するため、ホームページ、SNS、リーフレット等を作成して広範囲に周知する。 - また、近隣の中学校や高校等へ出向し、職業選択時期にあたる世代を対象にした女性消防職員の講話を行う。 ・女性消防吏員の JFFW 交流会への継続的な参加を促す。 ・当消防本部所属の女性消防吏員会議、意見交換会を開催する。 【一関市消防本部】 ・令和 7 年度実績の内容を継続して実施する。 ※令和 7 年度実績 ・女性消防吏員活躍推進アドバイザーを活用した「女性消防吏員活躍推進研修会」を実施 ・採用試験における受験資格の拡充（公安職経験者枠を創設し、受験年齢を 35 歳までとした。） 【釜石大槌地区行政事務組合消防本部】 ・公務員合同就職説明会において、消防における女性活躍推進の PR を行う。 【奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部】 ・各種職業説明会等に参加し、消防吏員の志望者増加を図る。 【久慈広域連合消防本部】 ・管内の高校及び県内の専門学校等へ出向し、採用試験の説明や女性活躍推進の PR を図る。 ・就職説明会や各種行事等に参加し、職員募集及び女性の消防職志望者の増加を図る。 ・消防職員採用 P R ポスターの作成、S N S を活用し幅広く P R を図る。
---------------	--

令和 8 年度 取組 (続き)	【花巻市消防本部】 ・市役所、警察、盛岡少年刑務所、海上保安庁、自衛隊と合同で「公務員合同説明会」を開催し、消防業務説明及び女性活躍推進のPRを図る。 ・県内の公務員専門学校等を訪問し、職員募集の説明を行うとともに、女性消防吏員の活躍を紹介し、女性の消防職志望者増加を図る。 【北上地区消防組合消防本部】 ・令和7年度第2回いわて女性の活躍推進連携会議から変更なし ※令和8年度取組方針 ・職業説明会等において、女性消防吏員の業務内容やキャリア形成の事例を紹介し、女性受験者が安心して消防職を志望できるよう丁寧かつ積極的に情報発信を行い、女性職員の採用拡大を図る。 【大船渡地区消防組合消防本部】 ・全職員を対象に、職場におけるハラスメント事例や対応策及び相談方法についてハラスメント研修会を実施 ・女性活躍に係る各種講習の受講 ・各就職説明会において女性職員が同行し、説明を実施 【遠野市消防本部】 ・市内学生、各学校等に対し、消防職員（女性職員の活躍）のPRを実施予定 ・女性活躍に係る各種講習の受講 【陸前高田市消防本部】 ・市の人事担当課とともに各種就職説明会に参加し、女性消防職員を含めた消防職員採用についてのPRを行う。 【二戸地区広域行政事務組合消防本部】 ・就職説明会、各種研修等に女性消防吏員が参加することにより、女性消防吏員の活躍状況を紹介するとともに女性消防吏員の活躍の場を拡充する。 ・職員募集リーフレットやパンフレットに女性消防吏員の活動を掲載し、女性活躍推進のPRを図る。
--------------------------------	---

14 認定 NPO 法人いわて子育てネット

令和8年度 取組	■子育て支援施設の運営 ①子育てサポートセンター（岩手県） ・子育て親子の居場所 ・子育て相談（栄養相談・赤ちゃん相談・なんでも相談） ・子育て情報提供 ・子育てセミナーの提供 ・お楽しみ会 ②もりおか子育て応援プラザ（盛岡市） ・子育て親子の居場所 ・子育て相談（栄養相談・母乳相談・なんでも相談） ・子育て情報提供 ・子育てセミナーの提供 ・お楽しみ会 ・一時預かり ・お疲れママのリラックスルーム ・子育て応援団 ■託児 ・託児訪問 ・団体託児 ・一時預かり ■岩手医科大学「病児等保育支援事業」 ・病児等育児に係るベビーシッター派遣事業 ■岩手県医師会「女性医師子育て支援事業」 ・育児に係るベビーシッター派遣事業 ・産前産後支援 ■パパママ教室運営（盛岡市 R7 年 5 月～） ・初妊婦及び夫・パートナーを対象に、赤ちゃんとの生活についての講話、体験（パパの妊婦体験ジャケット）等を実施。 ■スキルアップで安心・安全、楽しい子育て研修事業 ・安心、安全で楽しい子育てができるように、夫婦のコミュニケーション、子どもの発達の理解等を通して、楽しい子育ての啓発。 ■ハラスメント研修 ・全職員を対象に、職場におけるハラスメント事例や対応策及び相談方法についてハラスメント研修会を実施予定 ■ハローワーク出張相談 ・子育て女性等に対する総合的かつ一貫した再就職支援窓口開催予定
---------------------	---

15 特定非営利活動法人参画プランニングいわて

令和8年度 取組	1 女性のキャリア形成支援リカレントプログラム 2026〔岩手大学・盛岡市と共催〕 令和8年6月12日（金） 第2回 働く女性のためのスキルアップセミナー 「働き方改革×時短術 情報共有で変わる仕事の質」 講師：岩館電気（株）代表取締役社長 平野喜英さん 2 多様な人材の活躍推進フォーラム及び男性の育休取得オンラインセミナー （予定） 〔盛岡市と共催〕
-------------	---

16 岩手県男女共同参画センター

令和8年度 取組	2026 固定的性別役割分担意識解消事業 企業向け出張セミナーを継続実施 【内容】 令和7年度と同じ内容で実施 県内企業に呼びかけ、要請に応じ、職員又は外部の有識者を講師として派遣し、職場や地域に存在する固定的な役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見・思い込み）への気づきや見直しの必要性について理解をうながすための出張セミナーを行う。
-------------	---